

第3回白河市複合施設整備基本計画検討懇談会 議事録

- 1 日 時 令和2年2月20日（木）13：30～15：00
- 2 場 所 マイタウン白河 2階 中会議室2
- 3 出席者
 - 会 長：市岡 綾子 （日本大学工学部 専任講師）
 - 副会長：藤田 龍文 （株式会社楽市白河 取締役副社長（白河市中心市街地活性化協議会））
 - 委 員：池下 和子 （特定非営利活動法人あったかたいむ 代表）
 - 石川 格子 （公募）
 - 君島 正信 （白河市地域活性化協議会等連絡調整会議 会長）
 - 鈴木 順子 （白河市子ども・子育て会議 委員）
 - 菊地 一寛 （白河市健康づくり推進協議会 委員）
 - 鳴島 あや子（白河市公民館運営審議会 副委員長）
 - 事務局：鈴石 市長公室地域政策担当理事、今村 参事兼企画政策課長、
八巻 主査、関根 副主査
 - その他：（株）オリエンタルコンサルタンツ3人（山本、石田、粟田）
- 4 次 第
 1. 開 会
 2. 議 事
 - (1) 市民アンケート及びインタビュー調査の実施結果について
 - (2) 複合施設のコンセプト及び導入機能について
 - (3) その他
 3. 閉 会

<議事概要>

【会長】

2月の末でお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日は第3回目の懇談会ではありますが、今回は市民アンケート調査の結果を踏まえた上で、導入機能を検討していきますので、よろしくをお願いします。まず、(1)市民アンケート及びインタビュー調査の結果について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(1) 市民アンケート及びインタビュー調査の実施結果について

(資料1により事務局説明)

【会長】

ありがとうございました。アンケート調査とインタビュー調査結果についての報告事項に対するご質問等ございましたらお願いいたします。

【委員】

施設建設に反対意見があったのであれば、その内容について教えてください。

(事務局)

資料1の6ページ、下から2番目のところをご覧ください。否定意見ということで、「ハコモノはもういらぬ」、「税金の無駄遣いだからいらぬ」、また、「コミネスやマイタウンもあるから似たような施設はいらぬ」といった意見がありました。

【会長】

駐車場不足への懸念については今までも意見があったと思いますが、駐車場としておいてほしいというような意味でも反対意見がありましたか。

(事務局)

駐車場のままが良いという意見も若干ありました。

【会長】

駐車場は、何かしら解決しなければならない課題だと思います。しかし、やはり健康や災害など前回懇談会でも発言があった内容が市民からも汲み取れると思います。あと補足にありますように、やはり街が賑わうには若い女性がいかに街に出てくるかもポイントだと思います。子育て機能が今の街中に不足しているのであれば、子育て支援が求

められる傾向となるでしょう。30代と40代以降で変わる点は、徐々に街に対する関わり方が変わるからだと思われまます。

本日は、皆さんに色々とお話しいただく時間を持つ予定です。何かお気付きの点がありましたら、戻ってご質問いただいても構いませんので、先に進ませていただきます。続きまして議題（2）複合施設のコンセプト及び導入機能について、ご説明をお願いします。

（2）複合施設のコンセプト及び導入機能について

（資料2、資料3により事務局説明）

【会長】

ありがとうございます。資料2につきましては、前回の皆さんの意見ですので、何かございましたらご発言願います。それから資料3につきましては、前回の皆さんのご意見を反映させ事務局より新たに提案されたものです。今回は左上の円の中に言葉が埋められましたので、それを踏まえた形でのご意見を賜りたいということでした。

まず資料に関するご質問がある方はおられますか。もう少し説明いただきたいということがございますか。

コンセプトをどうするか、機能についての説明を伺いましたので、今回は制限なく自由なご意見を伺いましたが、今回は事務局からもあったように市民アンケート調査結果を踏まえた形での意見を賜る機会となっております。資料3の1番、整備コンセプトについてはキーワードの洗い出し、導入すべき機能につきましては下の2番です。こちらにつきましては複合的に必要な機能に関する意見を伺います。

【委員】

整備コンセプトは、ここで決めたのが、この事業のコンセプトとして進んでいってしまうのですか。それとも、あくまで懇談会の案としてあがるだけですか。

（事務局）

懇談会としてのご意見として承りたいと考えております。今回は、基本的にはキーワードとコンセプトについての意見を基に検討し、次回の懇談会で再度お示ししたいと思います。

【会長】

これがキーワードとして決定されるのではなく、あくまでも懇談会の意見としてコンセプトをまとめるということです。前回のやわらかいイメージという意見を基に、かなりやわらかい言葉がコンセプトとしてあがっております。前回と同様に、同意を得られ

たのであれば、そこは軌道修正せずに進める所存です。

コンセプトの言葉の確認でも、機能の方からでもご意見があれば伺います。このようにご発言いただくのは、もしかしたら今回が最後に近いようにも思われますので、ぜひ必要と思われる機能に関するご意見があればお願いします。

【委員】

現状、児童クラブを運営している中で、入れる入れないということがかなり出てきていて、どこかで入れない児童がいるということもあります。そういうお子さんたちが、小学5～6年生だから家に帰れるかという、やはり帰したくないという親もいらっしゃると思います。そういうお子さんたちを、例えば平日はどこまでというのは、私も勉強不足で少々わからないですが、夏休みなど長期の休みに、鏡石町付近で寺子屋という学習スペースが開かれていると聞きました。たぶん行政が入っていると思うのですが、例えば午前中だけは寺子屋で勉強をする、といったことを白河市の中で運営していくと、安心されると思います。そういった場所が今後必要になってくるかなと思います。民間が運営するとなってくると、そこだけで負えないものという中で、行政ができるのであれば安心できます。お子さんや親御さんが不安のないようにしていただきたいです。今まで入れたものが急に無理だと言われたときに、やはり仕事をしているお母さんたちの悩みが出てきますので、そういった相談を受ける側として、良い方法がないかなと思っていました。そういうときに、鏡石町付近で寺子屋というものがあると聞きました。若い人やお母さんたちは仕事をしているため、複合施設ができたからといって、日々使われる場所にはならないと思います。そういうお母さんたちが仕事をする前に預けて買い物に行ったり、そういう場所で、例えば食事をしたりなどができるのであれば、そこに機会もあるでしょうし、そういうものが今後必要になるのかなと思いました。そういうものを入れていただきたいと思います。

【委員】

児童クラブに子供がたくさんいます。当初の定員からの変更などもあったりします。

【委員】

基本的にはどうするかというと、仕事の退職や早退ということが出てきています。こういう施設があるのであれば、せめて夏休みなど長期休みにお子さん達が集まる場所になります。そういう場も考えていただければと思います。

【会長】

海外では必ず小さな子どもは、登下校も含め親と一緒に外出しています。長期休暇になると、共働きの場合、子どもだけでは外出できないので、そのような子どもたちを預

かるサービスがあります。保護者はそこに子どもを預けて仕事に行き、帰りはそこに迎えに行く、というシステムが見られます。

日本の児童クラブは、放課後預かるという仕組みですが、その考え方を少し柔軟に対応させることで、おそらくいま委員がおっしゃったことは対応できると思われま。面倒を見る人が一般の方々、それとも民間企業なのか、という点は、実現する場合に調整を図ることになるかと思ひます。

児童クラブが必要となり、この機能だけが増々大きくなると、結局本来求められていた機能ができなくなることも考えられます。本質的にこの施設に求めている機能を、次回の懇談会までに落とし込んでいきたいとのこと。場所の問題も、だいぶ前から話題にあがっていると伺いました。街中でチャレンジし、様々なご苦勞をなされたと思ひますので、そのあたりも踏まえて、この時点で我々が共有すべき情報がありましたら、まちづくり活動を実践されている委員にお話しいたきたく存じます。

【委員】

先日もこの会議の後に中心市街地活性化の方の皆さんと打合せをさせていただき、皆さんからご意見をいただきました。それで複合施設でできる機能に関しても、大変関心も興味もありました。ただその中では、行政がやるべきエリアと民間が得意なエリアがあると思ひますので、そのような分け方も必要だと思ひます。今回も市民の方から色々な意見やご要望が上がってきたときに、アンケートの分析はしていただきましたが、今度は色々違った色分けが必要です。民間が良いのか行政が良いのか、またハード系の事業なのかソフト系の事業なのかなど、色々な色分けをしていくと、重なるものがあります。より重なったものが、市民がより望んでいるものとして出していけば良いと思ひます。どうしても行政にばかりお任せしていても、行政で不得意な部分もあるでしょうし、民間だけだと営利目的に偏りすぎることもあります。違った意味での色分けをしていると、アンケートや皆さんのご意見がより抽出できるのではないかと思ひます。今日皆さんがいらっしやっているこのマイタウンでも、先ほど委員がおっしゃったように、小さい子供達はなかなか親御さんの同伴がないと駄目なのですが、中高校生はよくここでずっと夜遅くまで勉強をしています。そういった部分が、中高生になると自立して児童館的に利用しています。そのため、このマイタウンや白河の図書館、コミネスに行き、皆さんそれぞれの時間を過ごしています。保護者の監督が必要な子供達の部分を見つけてあげるのも良いでしょう。高齢者側の機能に関しても、許認可の関係もあると思ひますが、高齢者のアンケートに言葉が出てきたコミュニケーションという部分があったので、高齢者の方と幼少の方が一緒にいるのも環境的に良いと思ひます。そういう場所も作ってあげて、あまり許認可関係を無くしたような緩やかなスペースもあれば、お互いが面倒を見合うような補助的な関係というのも、意外とお金がかからなくて良いのではないかと思ひます。

資料の下に行きますと、賑わいという言葉が出てきたと思います。賑わいの創出は、だいぶ難しいことです。中心市街地の人口の減少や商業施設の衰退は、やはり何か意味があります。皆さん胸に手を当てて考えてもらおうと、お買い物は意外と東京や仙台、白河であればショッピングモールに行きます。また、インターネットで消費したりしていると思います。それは全国的な流れとして仕方ないです。それを全て白河市でできるわけではないので、諦める部分も多少必要だと思います。あとは行政単位で市町村の壁があるわけではないので、隣町にお願いする部分はお願いしても良いと思います。先ほども何かの施設で隣町に行っているとありました。プールは西郷村にできたプールに行くなど、近隣市町村の良い施設は使っても良いと思います。その代わり、第二施設を逆に白河で作って、そこに近隣市町村の方も呼び込めるような、諦めと行政を通り越した発想もあれば近隣市町村と似たような施設を作らなくても良いのではないかと思います。街中の空き店舗に色々な店舗を入れてもなかなか長続きしません。それには何か理由があります。賑わいを店で持ってくれば良いというわけではなくて、色々なファクターがあると思います。そのファクターで全てを埋めるくらいのところまでやるか、その部分ではなくて違うアクションで検討していくというのも1つの方法です。ここにおしゃれなお店が来たら難しいです。その後に変えるということもできません。その辺は理想と現実で難しい部分があると思いますので、勇気を持って諦める部分と人にお願いする部分が必要です。その代わり、他にないものをうまく抽出して勇気を持って諦める部分があっても良いのではないかと思いますというのが、皆さんのご意見としてあがりました。

【会長】

ありがとうございます。今のご意見は、素案に出てくる配置すべき機能をこのような表にすることで漏れてしまうところに本質がある、ということだと思います。前回の皆さんのお話の中でも、結局ハードというよりはソフトを重視ということでした。それは、特に目的がなくても、複合施設に来れば安らぎや白河市民としての安心感が得られ、ネットワークや個々の拠り所を求めるそういう施設であって欲しいということだと思います。さらに、日常的なところから非日常の対策を意識できるようにしておけば、何か起きたときにも複合施設に来て、助け、助けられるということが自然に身につく場所であって欲しいという話だと思われまます。どうしても行政の施設なので、今までの施設計画に基づくグルーピングによる発想は理解できますが、ここから先新しい施設を作ろうと考えているとすると、この図では最初からハードの面が強く伝わります。この図の作り方を工夫された方が、我々の懇談会としては有意義になるような気がします。先ほどの委員のご意見、前回の皆さんのご発言も新しいソフトを実現する場づくりかと思えます。色々議題はありますが、何を諦めるかということもあるのではないのでしょうか。

【委員】

諦める、という話が出なければ出さなかったが、諦めるとすれば物販機能です。働いている人が複合施設に来るのは、週末などの休みです。そのため、物販機能はキッチンカーを呼び込むなどのイベントなどでまかなえば済むと思います。私は市内でお店を営っていますが、お客さんは来ません。中心市街地もそうです。これ以上増やそうとするのは得策ではないと思っています。もちろん、複合施設には防災などの機能も持たせたいと思うので、その機能は必要だと思います。最近の子育ての方々が困ったときの多少の機能もいると思います。大きくはならないと思います。

もう1つは、先ほどの具体的な機能の中、コロナの問題があるように災害の1つとして検討しても良いと思います。もちろん、感染症の災害の場合、市の保健センターなど中心になるのですが、複合施設でもそれを災害の話で捉えても良いと思います。ただし、防災は、いつもとは違うスペースの使い方が必要だと思います。市民のアンケートをいうと、当然話している方向と大きな差はほぼないと思います。そのため、複合施設はそれをうまくまとめて色んな有益な使い方や配置方法を検討すべきだと思います。複合施設は、市に今までなかったというところで、やはり健康や子育て、それから防災的などところにカスタマイズをしていくことが新しいことだというように考えました。以上です。

【会長】

ありがとうございます。広域な白河市内で、必要な機能を使い分けるという発想、例えば温泉があるとなれば、「ではあの温泉行きましょう」となることは良いと思います。できればこの複合施設は、拠点を繋ぐプラットフォームを担うことになると思います。市民にとってよりよい公共交通機関も含めたネットワーク化を考えなければなりません。また、他市町村の住民が白河市に来て白河の楽しさを共有できる繋がりを持つという発想もあると思います。

この機会にそのような新しいネットワークを意識することで、市民団体による施設利用のイメージから発展させるアイデア、メッセージになるような気がいたしました。市を超えたネットワークも念頭にキーワードに入れていただく感じでしょうか。

【委員】

逆に、地域連携などそのようなこともあったので、この施設に来れば他市町村の他施設にも行ける交通網の何かがあるステーションになれば良い。1から10まで市の予算を使わずに、タクシーなどにお任せする。行政が関わらなくても良いところは、他県であっても同様にさせていただいていくという発想の方が、拠点として悩むよりも良いような気がします。

(事務局)

補足説明です。他の市町村の施設を利用するというのですが、白河市と西白河郡は公共施設の相互利用協定を結んでおります。例えば、中島村に新しくできたフィットネスジムも、白河市民は中島村に住んでいる方と同じ利用料金で利用することができます。キッズランドにしごうも、西郷の方以外も無料で利用することができます。

【委員】

例えば、実施していないという講座をやりましょうというように言っていましたが、中央公民館ですと、クラブなどがあって、それが1日に複数あると駐車場が足りなくなります。そのため、教室があれば講座だけでも受けられるというものがあるといいと思います。

(事務局)

それはそういうスペースという意味ですか。それとも講座を開催するという意味ですか。

【委員】

中央公民館の駐車場は狭くて使えないというのがありますので、そういう問題を考えると、複合施設を使うことで中央公民館の駐車場問題を解消できていると思っています。

(事務局)

現在の中央公民館の講座を分散するということですか。

【委員】

いまクラブが使っていますので、講座の日だけが大変です。それを複合施設を使えば、と思ったりはしました。

【会長】

講座を開くようなスペースは、臨機応変にどなたでも使える仕組みにしておけば良い。前回の懇談会でも、食の安全の話も出ており、集約するポイントになるかもしれないと思いましたが、欧米などで実施しているグリーンマーケットのような感じはいかがでしょうか。毎週何曜日にグリーンマーケットを実施し、そこでオーガニックのものが購入できるようになると、購入したい人は、毎週その時間に施設に来ることになります。このようなやり方でコアなお客さんが常に来訪する仕組みを作ります。

常設ではなくアレンジできる形、仮設的にテントを構える形態もあると思います。先ほどの物販機能を認めないということではなく、現時点ではあらゆる可能性を残してお

いた方が良い。そう考えていくと、常設して作る、それとも臨機応変に作るものなのかを分けた方が良い。本当に作らなければいけない機能は、市役所がすべきことなのか、民間に任せられるものなのかを考えなければならないですが、行為を担う場に注目していくと、この施設が本来求められている姿に近づくと感じます。この表はこれで良いのですが、この表に捉われずに、フレキシブルな場を作っていく方向性をお願いします。

【委員】

お話があったように、子育てと高齢者の関わりの話は、すごく良いと思います。子供が育っていく中で核家族が増えておりまして、祖父母と過ごす子供たちが減ってきていて、年を取るということがどんなことなのかということを理解できない子供が増えております。高齢者の方が座りたいときに、膝が折れなかったりしてお椅子を出したりすると、「座れないの？」など、子供は聞いたりします。また、「うちのおじいちゃん歯が取れるんだよ」と言うと、子供たちは「どうして？」という言葉がいっぱい出て来ます。そういうことを分からない子供たちが、他の園児から教わるようなことがあったりします。子育て機能と高齢者機能を別にしなくても、みんなが行く、すべてが集える空間があっても良いのではないかと。子供のことを見守れるということで高齢者の方がいても良いと思います。子供たちとのささやかな交流かもしれませんが、一緒にその姿を見られたりなど、会話が保てたりする場があっても良いと思います。他の施設はどちらかというと、子供の遊び場があって、高齢者が集うところがあってということで、分離していくような気がするのです、そのように集える場所があってもよいのではないかと気がします。

【会長】

ただいまのご発言内容を考えますと、行政の管轄ではうまくいかないのです、縦割りを外すことができると良いですね。この施設に関しては縦割りを外すところまで腹を括っていただいた上で、良い機能をうまく形にしていくことが一番大事だと思います。前回でも同様の発言があり、元気なおばあちゃんから、若いお母さんが子育てで分からないことを聞いたりできる。自分のおばあちゃんだけでなく、色々なおばあちゃんから聞けば、より多くのおばあちゃんの知恵と出会えます。それから次世代の子どもたちに伝える、知恵と知識が継承し繋がっていく。さらに、白河市民だけでなく、もっとより多くの様々な方に繋がっていけば尚良いと思います。

【委員】

この間、カフェに行った時に、私の子供は1人であや取りをしているのですが、あや取りは教えるのが難しいのです。そこで、私の子供は人見知りをしないので、全然知らないおじちゃんおばちゃんのところへ行って、「教えて」といって教えてもらっていました。

た。そういった雰囲気が良いと感じたので、お年寄り、子供というキーワードというのは、すごく良いと思いました。あと、私の意見としては、子供というキーワードで言えば、働く世界においては、子供と一緒にいる時間の活用というのが自分としては重要だと思っています。働いている人というのは、幼稚園や保育園など延長保育で預けて定時に迎えに行きますが、その後の時間は結構憂鬱です。うちは核家族ではないのですが、核家族として帰ってきたらみんな疲れていて、それから食事を作ることが憂鬱なのです。その中で、夜に子供と一緒にいる時間に外で過ごせる場所があるとすごく良いと思います。なので、そのような活用の仕方も良いと思います。また、土日はやはり市外に出かけてしまいますので、そのようなことを考えると平日や夜の時間帯の必要というのもの、働く世代とすればキーワードになると思います。

あとも1つは、クリニックなど健康というキーワードが出ていましたが、子どもに何かあると厚生病院の夜間医療に連れて行ってしまいますが、厚生病院も子供を連れて行ったりするとすごく嫌がるということを耳にします。だいたいこの辺は午後6時くらいで診療が終わってしまいます。6時以降に1時間でも2時間でも診てくれるようなところがあると、良いと思います。夜の活用という部分で施設の活用ができるといいと思います。

【会長】

白河市にはそのような施設はないのですか。

(事務局)

夜間はありません。今おっしゃったような厚生病院の救急外来など、そういったところに限られてしまいます。

【会長】

委員からのご意見について、医師会の対応として前向きに検討していただけるのか否かの確認を事務局にお願いしたいです。遠隔医療を可能とする情報化が進めば、この施設による対応ができるようになり、安心を得られる環境になります。市民生活的にはありがたいのです。小さな子どもから高齢者までちょっとした診察が可能となります。

【委員】

今、話を聞いてもやはりアンケート通りの要望を満たしていけば、にぎわいがもたらされるということに繋がっていくと感じました。健康増進機能のような、お年寄りから子供までが充実したような施設を大きく設けてもらえる集まりやすいのかなと思って聞いておりました。

【会長】

資料にある具体的な機能で分けるというより、属性が重なる場所が欲しいという話になっております。みんなにとっての安心安全で健康が維持されるのは何かという観点でのご発言をお願いしたいです。キーワードにあったら良いと思われることがあればおっしゃっていただきたいです。垣根なく、多世代交流などの言葉が本日の段階で出ていると思います。

【委員】

どの世代でも集まれるというのは、すごくいいのですが、りぶらんなどに行くと学生の勉強場所で埋まっており、使いたい時に使いづらいと思うことはあって、学生が悪いわけではないですが、そこを何かしらの形でうまく勉強場所とするのか、活性化との住み分けができるかというと思います。テーブルと椅子を置いたら学生で埋まってしまうというのが現状です。

(事務局)

今、似たような意見が市の内部で議論した時にも出てきております。フリースペースはニーズが多くて、今おっしゃったように学生がいらっしたり、場合によってはお母さん方が何か用事で会った機会にそこでお話したかったりなど、フリースペースのニーズは多くあります。やはり住み分けが必要なのではないかという意見がありまして、学生の側からすると勉強するには静かなところがいいのですが、お母さん方が集まった時に話すのならば話ができる雰囲気のところの方が良かったり、あと時間帯もあります。なので、どういう工夫をすればその住み分けができるかというのは、フリースペースを作る時に考える必要があるだろうという話が出ています。まだ結論は出てはいませんが、フリースペースはすごく人気が高いということは考えておりますが、じゃあどういう人たちが集まれる場所なのかということころは、少し工夫が必要だろうということは話しているところでありました。

【委員】

お金がかかってしまいますが、東京では携帯などでサラリーマンなどが場所を時間帯で予約して使うというやり方があります。

(事務局)

レンタルルームという話も出てきまして、通常の机と椅子のスペースに加え、堅苦しい部屋でなくソファがあって自分の部屋のようなレンタルルームがあれば、使いたい時に1～2時間お話をしたり、場合によっては、何かを持ち込んでパーティーができたりそんな部屋があるかという話もありました。

ちなみにこのマイタウンでもフリースペースで学生が勉強しているのですが、ここは会議室の利用料金が安いので、会議室を予約して勉強している学生もいるということをおっしゃっていました。そこは、何か少し知恵を絞って考えてみる価値はあると考えています。

【委員】

拒絶するわけではないですが、専有されないようにしたいです。みんなが共有できるようにしたいですね。

【会長】

ウォーキングプールについてです。健康増進の目的に加えて、プールの水を災害の非常時に使用するなど、意識的に避難時に使用することを念頭に置いてみる考えも必要かと思います。

白河市民の方がここに来ればこういう情報が得られる、とりわけ災害時には信じられる情報をここから発信していくことが一番安全なような気がするのです。何かあったらここに来ていただければ、安心安全の生活が維持できる信頼感が、防災や健康増進に繋がると思います。事務局にお伺いしますが、キーワードは今決めずに、もう少し後でも大丈夫なのでしょうか。

（事務局）

次回の懇談会でコンセプトを示したいと思います。無理に絞り出すというのは難しいと思いますので、いま出てきたものから導き出していきたいと思います。その上で、改めてご意見を伺いたいと思います。基本的にアンケート調査結果と前回の懇談会で出た意見は、大きく差がなかったのでこれ以上は難しいと思いますが、もし何か追加があるのであればお伺いしたいと思います。

【会長】

意見をもらうということですね。分かりました。どういう言葉を盛り込まれた方がいいのではないかと、今日出ないとしても何かあれば言及していただく感じでご連絡ください。何となくコンセプトの「げんきがあつまる」となると元気がない人はどうかというのもあり、元気が集まるというものではないような気がします。そこに行かなくてもそこと繋がっているという、そんな感じのことを皆さんおっしゃっているような気がします。

結果的にみんなが集まる元気だねって、結果論として多分元気が集まるということなので、元気がある人でないと行ってはいけないのかしらというプレッシャーを与えます。ランドというよりは、ランドというところまで島としてある意味、健康のような

印象を与えますが、本当に皆さんみたいに広域に繋がっていくための1つのキーステーションになって欲しいという意味合いだとすると、多分ランドではないような気がします。駅などの方がいいかもしれません。そういう繋がっていくあるラインの中の1つの場所というイメージかなという気がします。だから、城というものの中で皆さん生きていると思うけど、城だと管理されているみたいな感じなので、そこは分かりません。私は白河市民ではないので第三者の目線で考えていますが、ここは本当に皆さんの色んな意見が出て、いいところへ導かれた方がいいと思います。

(事務局)

市でもいろいろ議論した中で、今出たようなものと少し近い話しとしては、市外の施設を含めてここをキーステーションにして繋がっていくということでした。物理的に公共交通というものも必要なのですが、まず、市内を見回した時にりぶらんやマイタウンなど、あるいは他の施設もあるのですが、そういうものと少なくとも情報は一元化して、たとえば、この複合施設に来てりぶらんの空情報が確認できる、あるいは、他の施設の利用状況が確認できるなど、単体ではなく周辺にある施設と繋がることは大事だよねというような話はちょうど出ていたところでした。単体でということではなくて、他の施設とつながって機能を分担したり連携したり補いあったりするような仕組みというのは必要とは考えています。

【会長】

委員から様々な情報発信の基地という話もありましたが、多様な使い方ができる状況を、この施設を利用する市民一人一人がイメージできることは大事だと思います。事務局に確認しますが、コンセプトが1個だけあげられ、それに改案を出すのはプレッシャーになると思うので、いくつか挙げていただいた方が意見は出やすいと思われます。

(事務局)

できれば次回は、3案くらいは示したいと考えています。

【会長】

そうするともう少し幅広い議論ができますので、その方が良いかもしれないです。やはり元の案が良いなどあるかも分からないですが。

【委員】

白河の施設はカタカナ読みなので、カタカナで統一するのもすごく利用しやすいです。

【会長】

施設名、愛称名ですね。そこに繋がる前段階として、もしあれば今の内に出した方がいいかもしれません。話は変わりますが、この場所は小峰通りに面しているので、景観上の配慮が必要です。小峰通りに面している方は、景観協定のルールを守っています。白河の方が関わるのであればその辺りのことは重々ご承知だと思いますが、今後どのような方が関わることになるのかは分からないので、基本計画には考慮しておいたほうが良いですね。

（事務局）

やはり市としまして、ここは今、会長がおっしゃったように景観の面では市のメインとなる場所です。景観というのは市の財産だろうという考え方もありましてそういう中で市の顔になるような景観を形成するべきところですので、そこは十分に配慮していく必要があるのではないかと考えております。また、先ほど駐車場のお話も出ましたが、景観も含めて駐車場の確保の仕方というのも工夫していかなければいけないと考えています。その上で、最大限確保できるように努力していきたいとは思いますが、一方で駐車場を使わないようにするような方策が考えられないか、あとは、せっかく健康をテーマにしている施設ですのでできるだけ歩いてアクセスするように、歩くことが楽しくなり、歩くことで何かメリットが見える化されるなど、そういう意識改革も含めてこの施設を整備することによって市民の意識改革もしていけるようなきっかけになればということもイメージをしているところです。そういうことで減らせる台数というのは、限られるのかもしれませんが、やはり将来に持続可能な社会にしていく上では、環境への配慮、健康への配慮なども含めてこの施設を契機として、自動車の使い方なんかの意識も変えていくきっかけにもなっていけばと考えております。

【委員】

楽市株式会社の方で中心市街地にスポーツジムの誘致したという話がありましたが、駐車場がなければ駄目だと言われたようです。健康意識が強い人がジムに来るのですが、やはり入るところまでは車で来ているのです。ですから、反対のことを言ってしまう申し訳ありませんが、そこを新設でやったとしても私たち地域の方はより近くまで車で行きたいという感覚が強い感じですが、もう1つ関連してコミネスがありますが、なかなか5分歩くことでも大クレームです。大変なクレームです。やはり、設計は東京の設計事務所ですが、東京では5分歩くなんていうのは当たり前だしその先に無料の駐車場なんていうのは贅沢でしかないのですが、その辺は少し田舎風のテイストを入れながら意識してあげないと出来上がってからまた駐車場遠いと言われます。出来上がってからでは難しいので。その辺のテイストを少しやはり経験値としては織り交ぜながら入れた方が何となく少し良い感じですが。

【会長】

お元気な方とそうでない方がいらっしゃるので、うまく駐車場の使い方として分けができればいいのかもしれませんが、なかなかうまくいかないということですね。車も今後はシェアしていくかもしれませんが、車自体も自動運転やパーソナル化など変わっていく可能性もありますが、その辺の意識改革に取り組むか否かも市側が決めなければいけないかもしれません。車の話ではないのですが、須賀川市に TETTE ができたときにゴミ箱を置かないと決めました。開館当初は市民が「何でゴミ箱がないんだ」と言っていました。ゴミ箱がないと、今誰も文句を言わないし、みんな持って帰っています。結果的には、施設内がきれいな状態で維持されているようです。

ゴミと車は少々話が違うかもしれませんが、意識改革ができる可能性もあるということです。TETTE の駐車場は、多少の無料措置はありますが有料ですし、街中の駐車場は金融機関の駐車場を含めコインパーキングに全部変えてしまいましたので、利用者はどこに停めてもお金がかかるから仕方がないという諦めの境地になりました。やるならばとことんやらないと市民の意識改革は難しいです。市役所への風当たりは強いと思われませんが、景観維持のために駐車場料金を使います、など協力し合う仕組みが望ましいようにも思われます。

本日の意見を基に、事務局で整理検討のうえ、次回の懇談会で整備コンセプトの案を示してもらいたいと思いますが、意見も出尽くしたということですのでよろしいでしょうか。では、本日の懇談会は以上になります。その他につきまして連絡事項がありましたらお願いします。

（事務局）

次回の第4回懇談会につきましては、来月3月27日の午後1時半に開催します。場所は、同じマイタウンで隣の中会議室1となっております。

【会長】

予定していた議題は以上となりますが、委員の皆さまから何か他にございますか。特にないということでございますので終わらせていただきます。ありがとうございました。